



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月13日

上場会社名 フマキラー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4998 URL <https://www.fumakilla.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大下 一明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 郷原 和哉 TEL 0829-55-2112
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	26,826	17.1	2,366	546.5	2,478	479.9	1,620	—
2020年3月期第2四半期	22,912	4.0	365	248.0	427	274.8	△249	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 2,074百万円 (ー%) 2020年3月期第2四半期 △533百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	98.34	—
2020年3月期第2四半期	△15.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	37,388	18,826	47.3	1,072.34
2020年3月期	39,826	17,165	40.4	976.92

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 17,674百万円 2020年3月期 16,102百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	20.00	20.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,500	0.0	2,200	23.2	2,500	23.7	1,300	68.8	78.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）Fumakilla Myanmar Limited、除外 1社 （社名）－
（注）詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	16,490,000株	2020年3月期	16,490,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	7,776株	2020年3月期	7,565株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	16,482,341株	2020年3月期2Q	16,482,804株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当資料における業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定の要素を含んでいます。実際の業績等は業況の変化等により、上記予想数値とは異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(経営成績)

(単位：百万円)

指標等	2020年3月期 第2四半期累計	2021年3月期 第2四半期累計	増減額	増減率 (%)
売上高	22,912	26,826	3,913	17.1
営業利益	365	2,366	2,000	546.5
経常利益	427	2,478	2,051	479.9
親会社株主に帰属する 四半期純利益又は 親会社株主に帰属する 四半期純損失	△249	1,620	1,870	—
1株当たり四半期純利益 又は1株当たり四半期純 損失	△15円14銭	98円34銭		

(国内・海外売上成績)

(単位：百万円)

	2020年3月期 第2四半期累計	2021年3月期 第2四半期累計	増減額	増減率 (%)
国内	13,613	17,070	3,457	25.4
海外	9,298	9,755	456	4.9
合計	22,912	26,826	3,913	17.1
海外売上構成比	40.6%	36.4%		

当第2四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年9月30日まで)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により大幅な消費の低迷が続きました。緊急事態宣言の解除後は、段階的な経済活動の再開に伴い緩やかに回復の兆しがみられるものの、見通しのつかない状況が続いております。世界経済においても、感染拡大の第2波・第3波などがみられ、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは「ひとの命を守る。ひとの暮らしを守る。ひとを育む環境を守る。わたしたちは、世界中の人々がいつまでも安心して快適に暮らすことのできる社会づくりに貢献していきます。」という経営理念のもとで、激変するグローバル環境に対応しながら、国内外市場での継続的な事業の拡大と堅固な収益基盤を確立するため、これまでに培ってきた技術とノウハウを結集した画期的で魅力的な新商品の開発、高品質で効率的な生産、販売力の強化、流通チャネルの拡大に取り組むと共に、商品アイテムの見直し、製造原価の低減、在庫の適正化、製品価値に基づいた適正価格での販売、広告宣伝費や販売推進費等のマーケティング費用を含めた販管費の効率的運用等の課題に努めてまいりました。

その結果、連結売上高は前年同期比17.1%増の268億26百万円(為替変動の影響を除くと18.1%増)となりました。

国内売上は、殺虫剤、家庭用品、園芸用品、その他の各部門とも増収となりました。殺虫剤市場はコロナ禍による在宅勤務や外出の自粛要請など新しい生活様式の広まりにより、身近な日用品の需要が高まったことから殺虫剤市場全体が好調に推移し、当社の殺虫剤売上は前年同期比14.7%の大幅な増収となりました。加えて新型コロナウイルス感染症の対策としてアルコール除菌剤の需要が急激に拡大し増産体制をとった結果、家庭用品売上が前年同期比351.5%増と急激に増加しました。その結果、国内合計では前年同期比25.4%増の170億70百万円となりました。一方、海外売上は、販売・製造ともに新型コロナウイルス感染症の影響は最小限であったことから、各国とも現地通貨ベースで堅調に推移し、円貨ベースでは円高の影響を受けましたが、前年同期比4.9%増の97億55百万円(為替変動の影響を除くと7.4%増)となりました。

次に、売上原価ですが、前年同期より21億3百万円増加し185億11百万円となりました。その結果、売上原価率は69.0%で、前年同期より2.6ポイント減となりました。売上原価率の低下要因は、利益性の高い商品の売上構成が増加したことやコストダウン等によるものです。

これらの結果、売上総利益は83億14百万円(前年同期比27.8%増)となり、返品調整引当金調整後の差引売上総利益は79億88百万円(前年同期比25.1%増)となりました。

販管費につきましては、コロナ禍での営業活動が制限された中で経費が大きく減少し、前年同期比6.6%減の56億22百万円となりました。

これらの結果、営業利益は23億66百万円（前年同期比546.5%増）、経常利益は24億78百万円（前年同期比479.9%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては、親会社の繰延税金資産の取崩し等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億20百万円（前年同期は2億49百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

次に、商品部門別の概況についてご報告申し上げます。

（単位：百万円）

	2020年3月期 第2四半期累計	2021年3月期 第2四半期累計	増減額	増減率 (%)
殺虫剤	17,818	19,544	1,726	9.7
家庭用品	438	1,977	1,539	351.5
園芸用品	1,570	1,979	408	26.0
防疫剤	1,009	914	△94	△9.4
その他	2,075	2,410	334	16.1
合計	22,912	26,826	3,913	17.1

殺虫剤部門

殺虫剤部門では、国内の殺虫剤市場はコロナ禍における在宅勤務や外出の自粛要請など新しい生活様式の広まりにより、自宅での生活時間が長くなったことから、身近な日用品の需要が高まった中で市場全体が好調に推移いたしました。加えて前期は4月～6月の天候不順の影響から市場全体が縮小した影響を受けて売上が減少したため、その反動も含めて前年同期比14.7%増の増収となりました。

一方、海外におきましては、東南アジア各国のいずれにおいても現地通貨ベースで前期を上回り、円高の影響を受けましたが、最終的な円貨ベースでは前年同期比5.1%の増収となりました。

これらにより、国内及び海外の殺虫剤合計の売上高は前年同期比9.7%増の195億44百万円（前年同期比17億26百万円増）となりました。

家庭用品部門

家庭用品部門は、新型コロナウイルス感染症の対策として、主力のアルコール除菌剤の需要が急拡大し出荷が大きく伸びました。加えて、花粉関連商材が直前期に販売した商品の返品が減少した結果、家庭用品合計の売上高は前年同期比351.5%増の19億77百万円（前年同期比15億39百万円増）となりました。

園芸用品部門

園芸用品部門は、新しい生活様式の広まりの中で家庭園芸を楽しむ方が増えたことにより、主力の殺虫殺菌剤や不快害虫用殺虫剤の売上が伸びました。また除草剤も引き続き売上が好調に推移した結果、園芸用品合計の売上高は、前年同期比26.0%増の19億79百万円（前年同期比4億8百万円増）となりました。

防疫剤、その他の部門

防疫剤部門の売上高は、9億14百万円（前年同期比94百万円減、9.4%減）となりました。

その他の部門の売上高は、子会社のフマキラー・トータルシステム(株)のシロアリ施工工事が好調で、24億10百万円（前年同期比3億34百万円増、16.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産額は、前連結会計年度末に比べて24億37百万円減少し、373億88百万円となりました。主な要因は現金及び預金が36億48百万円、電子記録債権が2億19百万円、建物及び構築物（純額）が2億24百万円、使用権資産（純額）が2億55百万円、建設仮勘定が14億52百万円、投資有価証券が95百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が56億61百万円、たな卸資産が27億26百万円減少したこと等によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べて40億99百万円減少し、185億61百万円となりました。主な要因は電子記録債務が13億21百万円、未払法人税等が6億86百万円、売上割戻引当金が9億98百万円増加した一方で、短期借入金70億67百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べて16億61百万円増加し、188億26百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が12億59百万円、その他有価証券評価差額金が5億67百万円増加した一方で、為替換算調整勘定が2億68百万円減少したこと等によるものであります。

自己資本比率は6.9ポイント増加し47.3%となりました。

②キャッシュフローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ36億64百万円増加し、93億11百万円となりました。

営業活動によって獲得した資金は127億73百万円（前年同期は97億64百万円の獲得）となりました。これは税金等調整前四半期純利益が24億79百万円、その他の引当金の増加額が11億94百万円、売上債権の減少額が52億98百万円、たな卸資産の減少額が26億11百万円、仕入債務の増加額7億61百万円あったこと等によるものであります。

投資活動によって使用した資金は16億84百万円（前年同期は5億11百万円の使用）となりました。これは有形固定資産の取得による支出が16億78百万円あったこと等によるものであります。

財務活動によって使用した資金は74億87百万円（前年同期は85億71百万円の使用）となりました。これは短期借入金の純増減額の減少が70億62百万円、配当金の支払額が3億29百万円あったこと等によるものであります。なお、当第2四半期連結会計期間末における借入金残高は、前連結会計年度末に比べ70億67百万円減少して、28億37百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想に関しましては2020年8月7日の決算発表時点と変更はありません。なお、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,281,773	9,930,708
受取手形及び売掛金	12,026,983	6,365,705
電子記録債権	205,033	424,986
商品及び製品	4,736,826	2,564,009
仕掛品	898,244	478,894
原材料及び貯蔵品	1,909,521	1,775,172
その他	805,987	1,038,938
貸倒引当金	△782	△917
流動資産合計	26,863,588	22,577,496
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,599,957	1,824,860
機械装置及び運搬具(純額)	1,658,474	1,625,844
工具、器具及び備品(純額)	204,793	208,188
土地	751,700	747,889
リース資産(純額)	58,624	15,243
使用権資産(純額)	416,141	671,933
建設仮勘定	605,950	2,058,906
有形固定資産合計	5,295,642	7,152,865
無形固定資産		
のれん	743,703	677,762
商標権	617,280	555,155
その他	387,735	360,038
無形固定資産合計	1,748,718	1,592,956
投資その他の資産		
投資有価証券	5,410,488	5,506,395
退職給付に係る資産	37,816	47,572
その他	604,023	648,860
貸倒引当金	△134,063	△137,818
投資その他の資産合計	5,918,264	6,065,010
固定資産合計	12,962,625	14,810,832
資産合計	39,826,214	37,388,329

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,254,840	3,650,699
電子記録債務	1,474,871	2,796,098
短期借入金	9,904,672	2,837,115
リース債務	90,093	69,152
未払法人税等	375,122	1,061,478
賞与引当金	416,497	301,333
役員賞与引当金	2,073	2,049
売上割戻引当金	421,000	1,419,738
返品調整引当金	637,032	963,194
その他	3,295,082	3,765,898
流動負債合計	20,871,286	16,866,760
固定負債		
リース債務	132,543	155,674
退職給付に係る負債	480,759	528,757
役員退職慰労引当金	532,767	507,729
資産除去債務	9,870	9,964
その他	633,386	492,728
固定負債合計	1,789,328	1,694,854
負債合計	22,660,614	18,561,614
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,698,680	3,698,680
資本剰余金	4,797,107	4,797,189
利益剰余金	6,464,170	7,723,181
自己株式	△6,007	△6,467
株主資本合計	14,953,950	16,212,584
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,654,685	2,222,202
為替換算調整勘定	△433,882	△702,314
退職給付に係る調整累計額	△72,660	△57,994
その他の包括利益累計額合計	1,148,142	1,461,893
非支配株主持分	1,063,506	1,152,236
純資産合計	17,165,599	18,826,714
負債純資産合計	39,826,214	37,388,329

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	22,912,412	26,826,381
売上原価	16,407,822	18,511,703
売上総利益	6,504,589	8,314,677
返品調整引当金戻入額	248,789	101,056
返品調整引当金繰入額	366,572	427,218
差引売上総利益	6,386,806	7,988,515
販売費及び一般管理費	6,020,813	5,622,453
営業利益	365,993	2,366,062
営業外収益		
受取利息	33,558	53,395
受取配当金	66,579	62,862
為替差益	7,478	14,812
その他	60,864	82,522
営業外収益合計	168,479	213,592
営業外費用		
支払利息	29,335	19,844
売上割引	70,417	77,772
その他	7,264	3,309
営業外費用合計	107,016	100,926
経常利益	427,456	2,478,728
特別利益		
固定資産売却益	5,973	583
投資有価証券売却益	—	4,125
特別利益合計	5,973	4,708
特別損失		
固定資産除売却損	27,164	153
投資有価証券評価損	95	17
関係会社株式評価損	7,244	—
役員退職慰労金	—	3,594
投資損失引当金繰入額	2,674	—
特別損失合計	37,178	3,764
税金等調整前四半期純利益	396,250	2,479,672
法人税、住民税及び事業税	359,418	1,095,926
法人税等調整額	154,566	△401,949
法人税等合計	513,985	693,976
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△117,734	1,785,695
非支配株主に帰属する四半期純利益	131,847	164,740
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△249,581	1,620,955

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△117,734	1,785,695
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△332,282	567,517
為替換算調整勘定	△92,607	△293,979
退職給付に係る調整額	8,894	15,138
その他の包括利益合計	△415,995	288,676
四半期包括利益	△533,729	2,074,372
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△688,266	1,934,706
非支配株主に係る四半期包括利益	154,537	139,666

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	396,250	2,479,672
減価償却費	434,341	406,272
のれん償却額	28,450	27,620
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	24,812	66,575
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	9,276	9,910
その他の引当金の増減額 (△は減少)	292,581	1,194,225
投資損失引当金の増減額 (△は減少)	△10,819	—
受取利息及び受取配当金	△100,137	△116,257
支払利息	29,335	19,844
為替差損益 (△は益)	△2,252	15,582
関係会社株式評価損	7,244	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△4,125
投資有価証券評価損益 (△は益)	95	17
有形固定資産除売却損益 (△は益)	21,191	△429
役員退職慰労金	—	3,594
売上債権の増減額 (△は増加)	7,564,968	5,298,726
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,888,536	2,611,460
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,692,593	761,239
その他	139,121	275,087
小計	10,030,402	13,049,014
利息及び配当金の受取額	100,137	116,257
利息の支払額	△31,268	△21,721
役員退職慰労金の支払額	—	△3,594
法人税等の支払額	△334,756	△366,463
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,764,515	12,773,492
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△79,366	5,154
有形固定資産の取得による支出	△327,020	△1,678,926
有形固定資産の売却による収入	7,468	1,730
有形固定資産の除却による支出	△26,404	△142
無形固定資産の取得による支出	△79,808	△1,643
投資有価証券の取得による支出	△1,289	△1,362
投資有価証券の売却による収入	—	7,709
その他	△4,764	△17,422
投資活動によるキャッシュ・フロー	△511,184	△1,684,903
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△8,052,930	△7,062,931
リース債務の返済による支出	△38,084	△43,351
自己株式の取得による支出	△364	△519
自己株式の売却による収入	—	141
配当金の支払額	△428,556	△329,648
非支配株主への配当金の支払額	△51,273	△51,066
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,571,209	△7,487,376
現金及び現金同等物に係る換算差額	△23,515	△153,522
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	658,605	3,447,689
現金及び現金同等物の期首残高	4,457,369	5,646,576
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	217,162
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,115,975	9,311,429

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間より、Fumakilla Myanmar Limitedは重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）への影響に関しては、当社グループでは、各事業拠点において、厳重な対策を実施した上で事業活動を継続しており、生産及び販売への影響は限定的であると見込んでおります。

しかし、本感染症は、企業活動に広範な影響を与える事象であり、また、今後の広がり方や収束時期等を予測することは困難なことから当社グループでは、当社グループが把握している情報をもとに、今後2021年3月期の一定期間に亘り当該影響が継続するとの仮定のもと、繰延税金資産の回収可能性判断や固定資産の減損判定等の会計上の見積りを行っております。なお、当該会計上の見積り及びその基礎となる仮定について、前連結会計年度末から重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間（自2019年4月1日 至2019年9月30日）

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	日本	東南アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,145,879	8,387,468	22,533,347	379,064	22,912,412
セグメント間の内部売上高又は振替高	838,658	862,327	1,700,986	-	1,700,986
計	14,984,538	9,249,796	24,234,334	379,064	24,613,399
セグメント利益又は損失(△)	△507,647	731,975	224,328	△44,595	179,732

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでいます。

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	224,328
「その他」の区分の損失	△44,595
セグメント間取引消去	186,260
四半期連結損益計算書の営業利益	365,993

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年9月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	日本	東南アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,506,607	8,889,486	26,396,094	430,286	26,826,381
セグメント間の内部売上高又は振替高	920,884	794,641	1,715,526	130	1,715,656
計	18,427,491	9,684,128	28,111,620	430,416	28,542,037
セグメント利益	1,352,606	801,979	2,154,585	19,287	2,173,873

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでいます。

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,154,585
「その他」の区分の利益	19,287
セグメント間取引消去	192,189
四半期連結損益計算書の営業利益	2,366,062

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。